

大西中だより



令和2年6月号

大泉町立西中学校

学校再開しました

長い休校が明け、本日から学校が再開しました。

2週間は、分散登校となり、一日おきの登校になりますが、6/15(月)からは、やっと通常の学校生活が戻ってきます。ほとんどの生徒が、この日が来ることを待ち望んでいたに違いありません。しかし、学校は再開できましたが、コロナの感染リスクが無くなったわけではありません。これから先も十分に注意を払い、一人の感染者も出さないような取り組みが必要です。

例えば、文部科学省からは、当面の間、次のような学習は控えるよう指示が出ていますので紹介します。

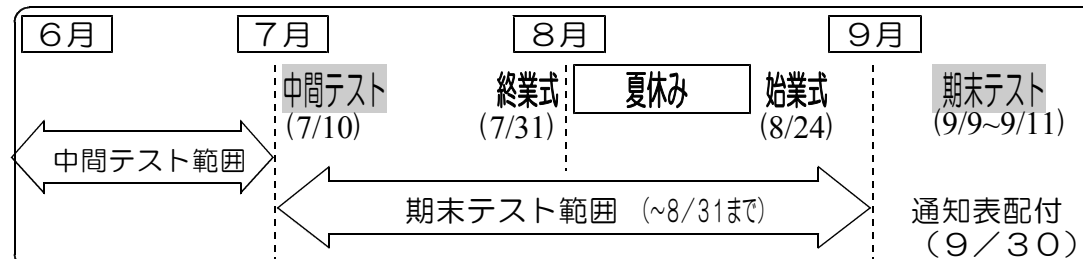
- ・音楽の授業では、狭い空間での歌唱指導
- ・家庭科の調理実習
- ・体育では、至近距離で組み合ったり、接触する運動。
- ・密集して長い時間行うグループ活動。
- ・運動会や文化祭、学習発表会、修学旅行など生徒が密集して長時間活動する学校行事

これらの学習は、感染拡大が継続していない地域でも、飛沫が飛ぶことを防ぎ、長時間密集状態を避けるなど、適切な感染症対策を講じた上で実施するように求められています。

そこで心配になるのが、林間学校や修学旅行、合唱コンクールの実施であると思います。これらについては、今後の状況を注意深く観察した上で、教育委員会と相談して決定したいと考えています。

中間・期末の試験範囲はこうなります

1学期の中間テストの範囲と期末テストの範囲は、下の表のとおりとなります。



夏休みについて

大幅な授業の遅れを取り戻すために、全国の市町村では夏休みの短縮が発表されています。沖縄では、夏休みが10日間になってしまった町もあるようです。群馬県では夏休みを10日ほど短縮して授業日に振り替える案が示されています。大泉町の夏休みを決めるのは、大泉町教育委員会です。現在、協議されているはずですので、決定次第お伝えします。

部活動編制について

今年度の邑楽郡夏季大会が中止になってしまいましたが、6月15日からは部活動を再開します。夏休みまでの期間は、17時30分までの短い時間となっていますが、1年生も新たに加わります。

1年生は、まだ部活動見学も実施していませんので、見学期間の後、仮入部、そして正式入部という流れになります。

入部に際しては、自分の適正をしっかりと見つめ、3年間続けることができる部活動を選択することが何より大切です。それには、友達と同じ部がいいとか、練習が少ない部がいいとか、そのような基準では長続きしない場合があります。興味のある部活動をしっかりと見学し、一生懸命打ち込める部活動を選んでください。

(注)文部科学省より「活動時間や休養日については、～中略～ 感染拡大防止の観点からも、より短時間で効果的な活動の実現に積極的に取り組むこと。」に則って、大泉町では活動時間が統一されています。

これからの学習内容はどうなるのか?

群馬県教育委員会から、令和2年度の学習指導について、次のような統一基準が示されました。

- ①本来、授業で教えるべき内容(学習指導要領の指導項目)を減らすことなく授業で扱う。(=カットする指導内容は無いということです)
- ②限られた授業時数で軽重をつけて教える。
(=3時間で教える内容を2時間にする場合もあるということです)
- ③1年間の授業時数は、主要5教科(国数社理英)が7割の時間で指導する。
(例)3年数学140h/年→およそ100h/年で指導するということ。
総合的な学習・道徳は3割の時間で授業を行う。
(例)道徳35h/年→およそ10h/年(月に1時間程度)で指導。
- ④次学年に影響する内容は、確実に指導する。
- ⑤県立高校入試の試験範囲から特定の単元を削ることは、現状では考えてない。ただし、生徒の不利益にならないよう配慮する予定。